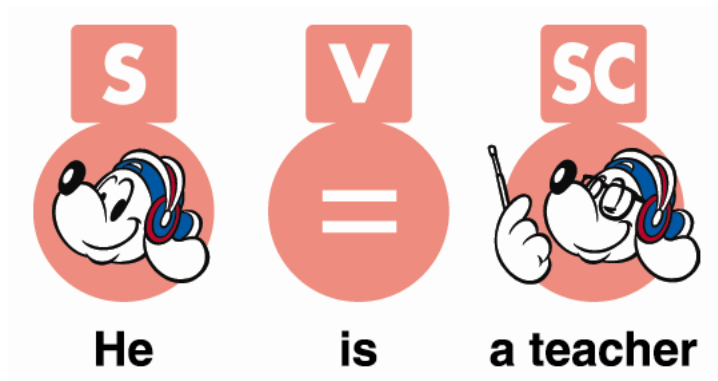


文の骨格 第2文型 [K2]



K2 : 解説

A. 【K2】の動詞の特長

: 「S は SC だ」が 【K2】。S と SC は常にイコール関係。S=SC。

Tom is a teacher. 【K2】 (トムは先生だ。) Tom is happy. 【K2】 (トムは幸せだ。) Tom looks happy. 【K2】 (トムは幸せそうだ。) など、「トムが何 (名詞) なのか」または「トムはどんな (形容詞) なのか」を表すのが 【K2】。主に Be 動詞がこれに当たるが、一般動詞も数十個ある。

【K2】には「状態」と「変化」がある。また、K2のSCには「名詞」か「形容詞」が入る。

B. 【K2】の動詞の詳細

1. 状態

【K2】の動詞は「状態」と「変化」に分かれる。「状態」は Be 動詞が中心となる。SC に形容詞が入る場合は「S はどんなふうか」を表し、SC に名詞が入る場合は「S は何か」を表す。「状態」の一般動詞は人間の5感: look (見える) sound (聞こえる) taste (味がする) smell (においがする) feel (感じがする) の5つ。この5つの一般動詞で、SC に名詞が入る場合は、SC の名詞の前に like (～のように) が付く。

2. 変化

例えば She is beautiful. (彼女は美しい。) は「彼女が美しい」という「彼女の状態」を表しているが、「彼女は美しくなった」という、「彼女の変化」を表したい時もある。その時は Be 動詞の代わりに「変化」を表す動詞: get / become (～になる) を使用する。get は SC に形容詞が入る場合に多く使われ、become は SC に名詞が入る場合に多く使われる傾向にある。

「過去における変化」を表す「～になった」という日本語は、英語では【現在までのどこかの時点で変化した】=【現在完了時制】または【過去の一点で変化した】=【過去時制】の2つの時制になるので注意が必要だ。たとえば、「彼どうしてる?」と聞かれて、「先生になったよ」と答えるときは、現在までのどこかで先生になったのだから He has become a teacher. 【K2】 現在完了時制を使う。それに対して、「本当。いつ先生になったの」と聞かれて「2年前になったよ」と答えるときは、2年前という

過去の一点で先生になったのだから He became a teacher two years ago. 【K2】 過去時制を使う。

3. その他の【K2】の動詞

- seem 「～のように思える」：見たり聞いたりした総合的な判断
- appear 「～のように思える」：見た感じの判断
- keep 「～し続ける」
- remain 「～のままである」
- prove 「～だとわかる（証明される）」
- turn 「変化する」：SC に色彩を表す形容詞が入ることが多い。
- go 「変化する」：望ましくない変化に用いられることが多い。
- come 「変化する」：望ましい変化に用いられることが多い。
- die や read もこのように【K2】の用法があるが、いずれも S=SC の関係であり、【K1】や【K3】の用法とは異なることに注目しよう。He died. 【K1】（彼は死んだ。） He read the book. 【K3】（彼はその本を読んだ。）

★【重要】S=SC という関係は、厳密に言えば完全なイコールではなく、「～だ」「～のように見える」「～に変化する」「～だとわかる」などである。これらを今後は、大きくとらえて「イコール関係にある」と呼ぶ。この「イコール関係」は K5 の O=OC にも完全に当てはまり、英語学習の急所である「補語：C (SC・OC)」を理解するためのポイントになる。このテキストに登場した K2 の動詞以外にもこの S=SC の「イコール関係」が成立すれば、その動詞は K2 である。

一般動詞においてそれが K2 の動詞であることを判断するもう 1 つの方法は、その動詞を Be 動詞に置き換えてみて、「大意が同じ」で「Be 動詞に置き換えてもすっきり意味が通れば」その一般動詞は K2 である。例えば、

He kept standing. 【K2】（彼は立ち続けた）

→ He was standing. 【K2】（彼は立っていた）

大意が同じで、Be 動詞に置き換えてもすっきり意味が通っているから、この keep は K2 である。

3Way System による英文法、特にその「補語」を理解するためには、既成の知識にこだわらない「やわらかアタマ」が大切だ。

3Way System では、従来型英文法の「存在の Be 動詞：第 1 文型」という概念は採用しない。Be 動詞はすべて、単純に、S=SC の関係の K2 である。

- 従来型英文法

Tom is in his room. 【K1】（トムは彼の部屋にいる。）

S V AD

- 3Way System

Tom is in his room. 【K2】（トムは彼の部屋にいる。） Tom = in his room の関係

S V SC

K2 : 一覧 Drill

1. 状態

1-1 . SC に形容詞が入る場合。

1	<u>It's</u> 【is】 <u>good.</u>	<u>それは</u> <u>良い</u> 。	
2	<u>It looks</u> <u>good.</u>	目： <u>それは</u> <u>良さそうに</u> <u>見える</u> 。	K2
3	<u>It</u> <u>sounds</u> <u>good.</u>	耳： <u>それは</u> <u>良さそうに</u> <u>聞こえる</u> 。	K2
4	<u>It tastes</u> <u>good.</u>	舌： <u>それは</u> <u>良い</u> <u>味がする</u> 。	K2
5	<u>It smells</u> <u>good.</u>	鼻： <u>それは</u> <u>良い</u> <u>においがする</u> 。	K2
6	<u>It feels</u> <u>good</u>	肌： <u>それは</u> <u>良い</u> <u>感触がする</u> 。	K2

1-2 SC に名詞が入る場合。

1	<u>It's</u> 【is】 <u>a dog.</u>	<u>それは</u> <u>犬です</u> 。	
2	<u>It looks</u> <u>like a dog.</u>	<u>それは</u> <u>犬のように</u> <u>見える</u> 。	K2
3	<u>It sounds</u> <u>like a dog.</u>	<u>それは</u> <u>犬のように</u> <u>聞こえる</u> 。	K2
4	<u>It tastes</u> <u>like a grape.</u>	<u>それは</u> <u>ブドウのような</u> <u>味がする</u> 。	K2
5	<u>It smells</u> <u>like a grape.</u>	<u>それは</u> <u>ブドウのような</u> <u>においがする</u> 。	K2
6	<u>It feels</u> <u>like a grape.</u>	<u>それは</u> <u>ブドウのような</u> <u>感触がする</u> 。	K2

2. 変化： ～になる【 get, become 】

2-1 SC に形容詞が入る場合。【 get 】

1	<u>She's</u> 【has】 <u>got</u> <u>beautiful.</u>	<u>彼女は</u> <u>美しく</u> <u>なった</u> 。	
2	<u>She</u> <u>got</u> <u>beautiful.</u>	<u>彼女は</u> <u>美しく</u> <u>なった</u> 。	K2
3	<u>She'll</u> <u>get</u> <u>beautiful.</u>	<u>彼女は</u> <u>美しく</u> <u>なるだろう</u> 。	K2

2-2 SC に名詞が入る場合。【 become 】

1	<u>He's</u> 【has】 <u>become</u> <u>a teacher.</u>	<u>彼は</u> <u>先生に</u> <u>なった</u> 。	
2	<u>He</u> <u>became</u> <u>a teacher.</u>	<u>彼は</u> <u>先生に</u> <u>なった</u> 。	K2
3	<u>He'll</u> <u>become</u> <u>a teacher.</u>	<u>彼は</u> <u>先生に</u> <u>なるでしょう</u> 。	K2

3. その他の【K2】の動詞

1	<u>He</u> <u>seems</u> <u>happy.</u>	<u>彼は</u> <u>幸せ</u> <u>そうだ</u> 。	
2	<u>He</u> <u>appears</u> <u>rich.</u>	<u>彼は</u> <u>金持ちのように</u> <u>見える</u> 。	K2

3	<u>He weighs 80 kilograms.</u>	彼は 80キロの 体重だ。	K2
4	<u>He kept standing.</u>	彼は 立ち 続けた。	K2
5	<u>He remained silent.</u>	彼は 沈黙した ままでいた。	K2
6	<u>The news proved false.</u>	そのニュースは 嘘だと わかった。	K2
7	<u>The leaves turned yellow.</u>	木の葉が 黄色に なった。	K2
8	<u>The old man went blind.</u>	その老人は 盲目に なった。	K2
9	<u>Her dreams came true.</u>	彼女の夢は 実現 した。	K2
10	<u>The poet died young.</u>	その詩人は 若くして 死んだ。	K2
11	<u>The book reads interesting.</u>	その本は 読んでみると 面白い。	K2

K2 : Drill

1	That restaurant sounds good.	そのレストラン良さそうだね。(That)(sound)	
2	Spring has come.	春が来た。(現完)	K1
3	This flower smells sweet.	この花は甘い香りがする。	K2
4	He looks like a policeman.	彼は警官のように見える。	K2
5	I swam.	私は泳いだ。	K1
6	She kept talking.	彼女は話し続けた。	K2
7	He is tall.	彼は背が高い。	K2
8	He's got tall.	彼は背が高くなった。(現完)	K2
9	She smiled.	彼女はほほえんだ。	K1
10	The boy will become a professional basketball player.	その少年はプロのバスケットボール選手に なるだろう。	K2
11	Mary seems very busy.	メアリーはとても忙しそうだ。(seem)	K2
12	The cup weighs 5 kilograms.	そのカップは5キロの重さだ。	K2
13	The movie began.	その映画は始まった。	K1
14	Susan has become a nurse.	スーザンは看護師になった。(現完)	K2
15	The bell has rung.	そのベルが鳴った。(現完)	K1